

らしんばん

身近な県政にするためには、県民とより多くの情報を共有すること。

タイトル写真左から、「県総合防災訓練参加の自衛艦」「秋を告げる彼岸花」「ベトナム民族舞踊団」

2013年9月議会号

発行日 2013. 10. 31

1. 9月議会(9/25～10/17) 議会開催概要

＜議会開催概要＞

9月定例会から本会議における代表質問及び一般質問は、一問一答方式を導入し、県民にとっても解りやすい質疑応答が展開されました。

今議会は、冒頭で県職員の不祥事が続いたことにより、知事の県民へのお詫びから始まりました。一つは県有地の不法占拠に対する担当職員の長年の放置について、韓国駐在員事務所の不適切な問題で、前者は関係者による損害金の負担、後者は懲戒免職と厳罰に処されました。

県政概要では、「地震・津波アクションプログラム2013」について、ハード・ソフト整備で10年間に約4,200億円が投資され、今後、県と市町と一体となった取り組みが始まります。

予算面では、3年間分を一括交付し、市町が複数年の継続事業化を後押しします。

9月1日に開催された県総合防災訓練では、岳南地域を会場に、第4次地震被害想定を踏まえ、富士山噴火、県境を超えた相互支援、超広域災害対応等を実施し、自衛隊や在日

米軍も参加した報告がなされました。

また、富士山世界遺産センターの設置場所が富士宮市に決まり具体的な方針が示され議論が始まりました。

その他、エネルギー、内陸フロント、飛び入学、総合計画前半の成果と次期計画が議題となりました。

＜9月補正予算概要＞

- 地震津波対策 +118.2億円
- 富士山の後世への継承 +7.4億円
- 子育て・医療福祉対策 +19.2億円
- 復興関連予算国返還 +13.5億円
- 給与削減分の減額補正 -66.8億円

＜学力テスト結果を受けて＞

本県は、学力テスト国語Aで全国最下位になり、その学校名(校長名)の公表に関し知事と教育委員会の間で大きな議論が交わされました。その成り行きについては多くの意見が分かれています。

この結果を点で捉えず、また学校だけに責任を押しつけず改善策を考え実施していくことが重要と考えます。ただ、教育のプロ集団への評価であったことも事実で、この問題を通じて本県の教材選定の課題などが浮き彫りとなり、良い成果が見出せるまで議論は続きそうです。



目次:

1. 9月議会 議会開催概要 P1
2. 本会議一問一答方式 P1
3. 所属する「企画広報文化委員会」での質問答弁 P2
4. 県総合計画前半の総括と後半基本計画 P2
5. 視察・研修報告 P3
6. 静岡県総合防災訓練 岳南地域を会場として P4
7. 富士地域政策課題と進捗状況(各地の要望) P4
8. ホットなニュース P4
9. 県政相談窓口 P4



議席が変わりました

ハイライト:

- ・地震防災対策(ハード・ソフト)が本格稼働
- ・不祥事続き 綱紀粛正を
- ・学力テスト結果を受けて 教育行政を見直す
- ・一問一答方式で 判りやすい議論を展開
- ・世界遺産センター決まる
- ・県施策の原点 総合計画の評価と今後の展望
- ・新たな総合防災訓練内容
- ・早く復旧を 富士水泳場

2. 本会議一問一答方式の導入

本県議会では今まで、一括質問方式とあって、質問者が最初に全ての質問項目を説明し、次に答弁者が順次その全てに答弁する形式をとっていました。これでは、個々の質問と答弁が対比しにくくなり、質問者もまた傍聴者もつながりが判りにくい状況があります。

一問一答方式は、一つの質問の後に答弁がありその繰り返しのため、丁寧に質問を掘り下げていくことで、質問者にも傍聴者にも判りやすい展開が可能となる

ことから導入されました。質問者は選択ができ、一括方式、分割方式(項毎にくる)、一問一答方式から選べます。

ただ課題も多く、再質問・再々質問内容が深まり、答弁側も簡素でなければ制限時間に収まりません。あらかじめ用意した後半の質問がこなせない可能性もあり、質問項目も制限時間内に収まるよう数を抑えることも必要です。質問回数は3回と決められており、このルールも逸脱するケースも見られました。さらに、磨きをかけていきます。



**県道不法占拠を許した
県職員の責任明確に**
袋井土木事務所管内の
県道不法占拠を野放し
にし、県に損害5千万円
余を与えた職員の連帯
責任が明確になり関係
職員が負担し拠出。



国道469号(こどもの国付近)
建設促進期成同盟による知
事要望説明(富士宮市長)



国道469号建設促進期成同
盟として用地の目途等、状
況を県議会議長に説明する富
士市副市長 金指健司氏。



東京秋葉原にできた「ふじのく
においしい処静岡」の視察に
て。隣接店舗に自費で進出し
た富士の「塩辛屋賀兵衛」。60
種類の塩辛は見事で盛況。

津波・地震対策財源

6月議会代表質問
で、示唆された法人事業
税の超過課税を平成26年
4月以降5年間延長予定。

税制度は変わらず、
全て防災対策費へ。

**3. 所属する「企画広報・文化観光委員会」での質問と答弁(●は当局答弁概要)
所管事務全般が質問対象で事前通告は無く当日開示。担当委員として自ら質問を設定。**

- (1)復興関連予算の一部(補助金・交付金)を国に返還する影響は
 - 浜岡原発停止による温水利用施設は魚の育種に大きな影響あり、国に支援要望。
- (2)県政世論調査結果(生活についての意識)から見える課題について
 - 県政への関心度は変化なし。意見・不満・要望は背景を深く分析すべき。
- (3)県政世論調査結果(観光客の受け入れに関する意識)の内観光への取り組み
 - 地域性を意識した分析が行われるべきだ。県全体の平均値では意味がない。
- (4)中国・台湾における環境交流団の成果について
 - 各国にとって重要な課題と認識しているが、中国は政府の意向が強く進展がない。
- (5)パソコン用基本ソフトWindows XPバックアップサービスの終了による影響は
 - 県庁内のパソコンの内、XPは今後3年間は残るので、ウィルスソフトを強化する。
- (6)多文化共生推進課題の内、青年海外協力隊(JICA)、シニアボランティア支援
 - 青年海外協力隊員やシニアボランティアの帰国後の就職等を支援する。
- (7)富士山世界遺産センター設置内容について
 - 場所は富士宮市に決まり、コンセプトも決まっているのに予算規模などが不明確。
- (8)グランシップスレート安全対策改修における利用者への配慮は
 - 改修は長期に亘るので、リピーターの顧客が戻ってこれるよう最大限の配慮をする。
- (9)静岡県立大学・静岡文化芸術大学の運営課題について
 - 過年度工事未払い金などを早期解決へ。就職に有利な英語検定等支援強化を。
- (10)静岡空港を拠点とする航空会社への配慮充実を
 - FDAが8号機を購入し、静岡を拠点とする方向なので運行支援など進める。

4. 県総合計画前半の総括と後半基本計画策定に向けて

- 1. 総合計画とは

静岡県政運営の柱となる計画で、平成22年度から平成31年度の10年間の構想が描かれている。これを実現するために平成22年度から25年度までを前期、平成26年度から平成29年度までを後期として基本計画が示される。川勝知事は、初当選した時のマニフェストをこの総合計画に置き換え、10年間で8年間に前倒しで実現することを表明。
- 2. 前半の総括(平成22年度から平成25年度まで)

基本計画に掲げる161の数値目標の内、数値の確定している150の数値目標について、達成度の評価を行った結果、全体の約7割が数値目標達成に向け順調に推移しているが、富士山静岡空港の利用者数など6数値目標は達成困難となったほか、37数値目標が一層の推進を要する状況。観光交流分野、文化・スポーツ活動、子育てや環境等の地域活動、年間所定外労働時間や障害者雇用率、保育所待機児童数などが低迷。
- 3. 後半基本計画策定方針と会派の提言(10月17日知事宛提出)

次期計画は、県民幸福度の最大化として、①家庭一体の住まいづくり、②観光交流人口の倍増、③出生率の向上、④地域医療の再生、⑤創造力を生む「学びの舞台」の展開、⑥新たな産業のフロンティア開拓を掲げている。戦略体系では「徳ある、豊かで、自立した」地域づくりの道筋を立てるとしている。また、県内を5地区に分けそれぞれの地域づくりの基本方向を示した。私の所属する自民改革会議では、全体を通じた提言では、戦略体系の見直し、地域特性や実情の反映、現状に即した数値目標、人口減少対策と実情の反映など、9分野、67項目の提言を知事に申し入れた。来年2月議会で集中審査する予定。



5. 視察研修報告

地域外交(日本ベトナム外交関係設立40周年記念)



駐日ベトナム大使館投資部長の、グエンバンパー氏。静岡県との経済交流に積極的に取り組みたいと話していた。



日越外交関係設立40周年式典を開催するにあたり、冒頭でご挨拶された、ベトナムファムビンミン外務大臣。



ベトナムの民族衣装をもとに現代風にアレンジされたファッションショー。調和のとれた、今後期待のかかる分野。



ベトナム芸術文化の集大成を、舞踊、音楽とともに堪能した。アジアの中でも今後、さらに日本との絆が深まる国。

国内視察(経済産業省・国土交通省・兵庫県議会・滋賀県議会)



経済産業省からアベノミクスの地方への波及効果について聞いた。中小企業庁ではf-Bizの全国展開を模索する話題が。



国土交通省担当者には、静岡県の国道整備の現状を聞いた。東駿河湾環状道路も沼津IC以西進展に期待が高まる。



議会運営委員会視察で、兵庫県議会を訪問。一問一答方式を導入するなど、先進的な取り組みを聞いた。



議会運営委員会視察で、滋賀県議会議場を視察。由緒ある建物とその存在感に感心。一問一答方式の先例を学ぶ。

近隣県・県内視察(小水力発電先進地 山梨県都留市・県内私学視察)



山梨県都留市は豊富な湧水を利用した、水エネルギーの先進地。小水力発電の導入状況を調査。写真は独製水車。



県内私学視察の内、熱海市内にある東洋医療専門学校にて。写真は鍼灸の実習現場。灸をすえていただき絶好調。



三島市内の私立高校。私学はそれぞれ特色のある学校運営を行っているが、行政からの助成などに課題がある。



三島市内の私立幼稚園を視察。特色ある幼児教育は私学ならではの。英語やスポーツなど選択できるメニューも用意。

研修会ほか(議員研修・心臓カテーテル治療施設・敬老会・秋季戦没者慰霊祭)



定例議会中には外部から講師を呼んで議員研修が行われる。今回は「グローバル化する世界と日本の国柄」が演題。



聖隷富士病院に最新「心臓カテーテル治療施設」が設置された。一刻を争う心臓手術設備の導入は地域医療に貢献。



市内の敬老会が開催された。訪問させていただいたのは数力所。人生の先輩として、その健やかなお顔を拝見でき満足。



恒例の富士市須津地区秋季戦没者慰霊祭。関係者の高齢化とともに戦争の風化を懸念。不戦・平和の大切さを刻む。

6. 静岡県総合防災訓練(会場:富士市、富士宮市)



静岡県総合防災訓練のメイン会場である「ふじさんめっせ」。ローカルFMの特設スタジオから知事と市長が情報発信。



ふじさんめっせにおける、災害図上訓練(DIG)。自主防災から多くが参加。感想を聞くと実戦的で良かったとの声。



田子の浦港のしゅんせつ土を使った災害救出訓練。土砂に埋まった市民の捜索と救出訓練は実践そのもの。



本訓練の特色の一つは、在日米軍の参加。大型の米軍ヘリが、富士宮市外神運動公園内に着陸し、救援訓練を実施。

7. 富士地域政策課題と進捗状況(各地の要望から)



原田滝川(第三保育園付近)の堆積土の撤去と水路整備。撤去は実施の方向で。水路整備は関係各方面と協議中。



大雨が降ると浸水する沼川周辺沿いに、二つの排水機場が設けられている。11月には完成予定。効果を期待。



潤井川沿い、伝法から久沢地区にかけても浸水地域。清水川を直接潤井川に排水する整備が進行中。



愛鷹山麓富士岡地区から須津地区までの広域農道がまもなく完成。供用開始は1月で、信号機設置も目途がついた。

8. ホットなニュース

◆ 県営富士水泳場(富士市大淵)天井落下復旧対策

7月22日に発生した富士水泳場の屋内天井材落下事故の復旧計画が明らかになった。平成25年3月までに設計を完了し、平成27年8月までの工期となる。供用開始は9月から。県民からもっと早まらないかという要望をいただき、当局と詰めた。同様の工事(高所の吊り天井という特殊性)経験から、早期完成へ一層努力するとのこと。



やっと消費側にアピールできるマークが誕生。富士ひのきでつくる建物がどんなに素晴らしいか、大々的にPR。



富士山麓で鍛えられたひのきの性能はどこにもひけはとれない。富士山世界遺産と絡めて市場人気は上昇中。

◆ 成人用肺炎球菌対策を進めましょう

成人における肺炎球菌感染症が深刻。他の要因を含め我が国の肺炎による死亡率は第3位。リスクの大きい65歳以上を対象にワクチン接種が有効で、1回につき5年間有効。費用は8,000円から9,000円で、富士市には補助制度がある。しかし、接種率は県平均でまだ1.3%と低い。(小児向けは本年4月より定期予防接種化され約60%。)

◆ 9月議会で決定した国へ提出される意見書

- ① 適正な法曹人口のための法曹養成制度の改革を求める意見書
- ② 空き家対策に関する意見書
- ③ 重度障害者(児)医療費助成制度の創設を求める意見書
- ④ 鳥獣被害防止対策の充実を求める意見書
- ⑤ 食品ロスの削減に関する意見書

9. 県政相談窓口

「県政相談窓口」とは、道路・河川等の整備の他、地域の課題についてご相談を承ります。

市と県、国の担当範囲が明確でない場合もありますが、こちらで調査いたしますので、区別なくお気軽に問い合わせ下さい。

ご相談いただいた内容については、必要に応じ関係機関に確認し、その可否についてもご返事いたしますが、お時間がかかることもありますので、ご容赦下さい。



発行者/静岡県議会議員 鈴木すみよし事務所

県政相談窓口および「らしんばん」発行者連絡先
富士市比奈1418番地の2

Tel 0545-34-0683

Fax 0545-38-0070

メールアドレス: hi.mena@tokai.or.jp

ホームページ: <http://sumiyoshi.info/>

ブログ: <http://blog.goo.ne.jp/sumiyoshi1956/>